

# 令和6年度交付金事業に係る評価専門委員会の開催結果について

## 1 開催概要

千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 第5に規定する交付金事業については、事業実施後に県が効果検証・評価を実施することとされており、学識経験者等の第三者から構成される専門委員会\*において、事業年度ごとに評価を実施しています。

令和6年度交付金事業に係る専門委員会は令和7年8月6日に開催し、各事業実施団体から説明を行った上で、委員から評価・助言を頂きました。

※地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業評価専門委員会…交付金事業の効果検証・評価を実施することを目的として、プラットフォーム会議内に令和3年6月に設置。

### 【委員名簿】

区分	委員	備考
学識経験者	宮本 みち子	放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授
経済団体	高橋 秀穂	一般社団法人千葉県経営者協会専務理事
労働団体	中島 正敏	日本労働組合総連合会千葉県連合会事務局長
行政機関	太田 克明	千葉労働局職業安定部職業安定課長

## 2 評価対象事業

No.	実施主体		事業名
1	千葉県	(雇用労働課)	ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業
2	船橋市	(商工振興課)	ふなばし地域若者サポートステーション事業
3	松戸市	(商工振興課)	就職氷河期世代キャリア支援プログラム
4	柏市	(産業政策・スタートアップ推進課)	若者(就職氷河期世代)就労自立支援事業
5	流山市	(商工振興課)	就職個別相談「就職氷河期世代支援コース」事業

※各事業の概要及びKPIの達成状況は5を参照。

## 3 専門委員会における主な意見(要旨)

- これまでに仕事につけていない就職氷河期世代の方は、就職へのハードルがより高く、数年前より困難度が上がっていると考えられるため、就職氷河期という固定観念に縛られずに対策をしていくべき。
- 就職できずに残ってしまっている方に合わせた支援についても、検討していく必要があると考える。
- KPIの実績だけではなく、就職できていない方や費用対効果といった面も分析していただきたい。
- 就職支援施設の利用者数減少に伴って就職決定者数も減少していることから、就職決定率を上昇させるための工夫などを行っていただきたい。
- 就職氷河期世代は、仕事だけでなく、金銭や住居など様々な問題を多く抱えているため、それらをまとめて受け止める公的なサービスが必要だと考える。

#### 4 今後の対応等

専門委員会の各委員からの意見・助言を基に、関係機関との連携をより一層強化し、多様化する就職氷河期世代の課題や適性を考慮した幅広い支援の実現に引き続き努めてまいります。

#### 5 各事業の概要及びKPIの達成状況等

##### (1) 千葉県実施事業

【事業名】 ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業

【事業概要】 各種プログラム（就職支援講座、企業との交流会等）の実施、一人ひとりのニーズに合わせた就職先の紹介など、きめ細かい就職支援を実施する。併せて、企業への受け入れ体制構築に向けた支援や就職後の定着支援を行う。

##### 【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	令和2～6年度 の増加分累計
KPI①：本事業新規利用者数 (人)	目標	100	400	400			900
	実績	130	402	462			994
KPI②：本事業による就職決定者数（非正規を含む）(人)	目標	20	200	200			420
	実績	15	104	228			347
KPI③：本事業への参加企業数（社）	目標	20	150	150			320
	実績	37	165	151			353
KPI④：本事業による就職決定者数（非正規を含む）(人)	目標				200	200	400
	実績				95	205	300
KPI⑤：本事業新規利用者数 (人)	目標				400	400	800
	実績				431	583	1,014
KPI⑥：本事業への参加 企業数（社）	目標				150	150	300
	実績				157	155	312

##### 【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和6年度）】

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

- ・該当なし

## 【事業の実施状況及びその成果等】

### 【R6年度実績】

- ・就職支援講座の開催（回数：32回、参加者：268名）
- ・ワークステップ講座の開催（回数：33回、参加者：269名）
- ・合同企業説明会の開催（回数：4回、参加者：200名）
- ・職場見学の実施（回数：13回、参加者：13名）
- ・企業向けセミナーの開催（回数：6回、参加企業数46社）
- ・随時 就職氷河期世代専門窓口（オンライン含む）での相談支援（664名）
- ・広報活動実施（市町村、労働局、県出先機関、就労支援施設、職業訓練校、相談機関、関係機関に約7,500部広報チラシ配架、県HPに掲載、県広報X、県内企業にDM送付、千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員との連携・協力による周知など）

### 【事業開始から現在に至るまでの総括】

新規利用者数（実績2,008名）、参加企業数（実績665社）については当初の予定どおり事業を実施できた一方、就職決定者数（実績647名）については、目標に達しなかった。これは、就職する意思はあっても、うまく軌道に乗れない状況を引きずっていることで、働くことに自信のない方や職場でのコミュニケーションに不安を抱く方など、様々な事情を抱えた方などがおり、なかなか就職に結びつかなかったことによるものと考えている。

なお、参加者を対象としたアンケートではセミナーや合同企業説明会ともに大変有意義だった、今後の求職活動の参考にしたいとの感想が多かった。合同企業説明会に参加された県内企業からは、無料で参加でき、PRもできるためまた参加したい、定期的に開催してほしいという声が多かった。

困難や課題を抱えた方には、令和7年度も引き続き、カウンセリング、セミナー受講での就職基礎知識の習得、合同企業説明会の開催によるマッチング支援などの一連のプログラムを実施するとともに、今後の収入や生活に不安を抱えている方などにもいることから、新たにマネープランやライフプラン等に関するワークライフセミナー及び個別相談会を実施する予定である。

## （2）船橋市実施事業

【事業名】 ふなばし地域若者サポートステーション事業

【事業概要】 「ふなばし地域若者サポートステーション」に、就職氷河期世代を支援するキャリアコンサルタントを配置する。

### 【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	令和2～6年度 の増加分累計
KPI①：就職氷河期世代無業者の非正規雇用を含む就職率（新規登録者数に対する就職に至った者数の割合）（%）	目標	35	35	35			※「平均で集計」 35
	実績	37.5	62.1	82.7			60.8
KPI④：就業者数（正規雇用、非正規雇用、自営・起業・内職等の人数）（人）	目標				18	18	36
	実績				19	13	32

※KPI②及び③は設定していない。

## 【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和6年度）】

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

- ・（K P I ④）人材不足による売り手市場である社会全体の雇用情勢により、就労支援機関を利用する方も減っていることからか、事業の新規登録者数が減少したため、目標値に届かなかった。

## 【事業の実施状況及びその成果等】

### 【R6年度実績】

- ・ 合同企業説明会－2回開催（参加者：5名）
- ・ 就労相談－58回実施（参加者：58名）
- ・ 心理相談－3回実施（参加者：3名）
- ・ 生活相談－138回実施（参加者：138名）
- ・ 職業人講話－26回実施（参加者：11名）
- ・ 職場見学－54回実施（参加者：5名）
- ・ パソコン講座－49回実施（参加者：4名）
- ・ イベント・ボランティア活動－0回実施（参加者：0名）
- ・ 保護者を対象とした講演会－2回実施（参加者：0名）
- ・ 学び直し支援－0回実施（参加者：0名）
- ・ 保護者の会－11回実施（参加者：0名）
- ・ 個別土曜相談－19回実施（参加者：8名）
- ・ 出張個別相談会－11回実施（参加者：1名）
- ・ 自宅または自宅近辺への出張相談－24回実施（参加者：5名）

概ね予定どおりに事業を実施できたが、イベント・ボランティア活動と学び直し支援については希望者がおらず、実施することができなかった。

### 【事業開始から現在に至るまでの総括】

総じて、目標値には届かなかったものの、事業をとおして対象者への心理的なフォローや企業側へのアプローチを行うことで、就業及び社会参加者をだすことができました。就業者については早期退職することのないよう丁寧にフォローをしていくことも重要と考えているため、定着支援やステップアップ支援を就業後も実施する。

上記を踏まえ、令和7年度は令和6年度に実施した事業を引き続き行うとともに、希望者がおらず実施できなかった事業については、事業内容の見直しを含め改善を図る。

### (3) 松戸市実施事業

【事業名】 就職氷河期世代キャリア支援プログラム

【事業概要】 正規雇用を希望する求職者がセミナーや個別相談を通して、就職に必要なスキルを身に付けることができるよう支援を行う。また、セミナー等において培ったスキルを基に正規雇用に繋げるため、市内の企業が参加するマッチングイベントを開催し、双方のミスマッチを解消する。

#### 【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	令和2～6年度 の増加分累計
KPI①：事業参加者数 (人)	目標	(※令和3年度 から事業実施)	150	150			300
	実績	—	195	335			530
KPI②：正規雇用就職 者数(人)	目標	—	30	30			60
	実績	—	7	31			38
KPI④：正規雇用就職 者数(人)	目標				30	30	60
	実績				14	19	33
KPI⑤：事業参加者数 (人)	目標				150	300	450
	実績				234	264	498

※KPI③は設定していない。

#### 【目標値と実績に乖離\*がある場合の主な理由（令和6年度）】

(※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合)

- ・(KPI④) 目標値には届かなかったが、昨年度の実績値(14名)を上回る実績を出すことができた。一方で、目標値である30名には届いていない状況である。事業参加者のうち、就職に直結しやすいマッチングイベントへの参加者の割合が低く、就職活動の優先度の高い求職者に対するアプローチが必要と考える。
- ・(KPI⑤) 目標値には届かなかったが、各種広報媒体の活用や、公共職業安定所等各種機関での広報の協力もあり、昨年度実績値(234名)より多い参加者数を記録することができた。一方で、広報の実施を行ったものの集客することが出来なかった月が存在し、継続的な集客が出来なかったことが目標値に届かなかった要因として考えられる。

## 【事業の実施状況及びその成果等】

### 【R6年度実績】

- ・マッチングイベント 2回開催（参加者：47名、参加企業：20社）
- ・就職支援セミナー 10回開催（5～9月：5回開催、参加者：51名  
10月～2月：5回開催、参加者：26名）
- ・ビジネスPCセミナー 8回開催（5～9月：4回開催、参加者：56名  
10月～2月：4回開催、参加者：27名）
- ・個別相談件数 57件

### 【事業開始から現在に至るまでの統括】

事業開始から4年経過し、事業参加者総数984名、就職者数は71名を達成することができた。KPIの達成状況をみると、事業参加者総数は目標値が上がった今回を除き達成しているのに対し、就職者数は令和4年度以外未達成となっている。今までの当事業はセミナー・相談・マッチングイベント等が独立したメニュー構成となっていた。

思うに、相談を利用した方は伴走型の支援ができていた一方で、セミナーやマッチングイベントだけの参加者も多く、その結果就職に結びつきづらいという理由があった。そのため今後は相談を入り口として、求職者一人一人に合わせた伴走的な支援が必要であると考え

る。  
このことから令和7年度より地域若者サポートステーション内に「まつどキャリアサポートデスク」を設置し、相談から就職まで一貫した伴走的な支援を行っていく予定である。

**（４）柏市実施事業**

**【事業名】** 若者（就職氷河期世代）就労自立支援事業

**【事業概要】** 「かしわ地域若者サポートステーション」において、就労開拓支援員の増員や就職氷河期世代を対象としたキャリア開発プログラムを実施する。

**【KPIの達成状況】**

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	令和2～4年度分 の増加分累計
KPI①：就職氷河期世代 利用者数（新規登録者 数）（人）	目標	30	35	40			105
	実績	20	28	23			71
KPI②：就職氷河期世代 の就職等（非正規雇用、 進学を含む）決定数（人）	目標	15	20	25			60
	実績	6	16	13			35
KPI③：就職氷河期世代無業 者対象協力企業開拓数（就労お よび職場体験の受け入れ先企 業延べ数）（社）	目標	15	25	30			70
	実績	66	100	30			196
KPI④：就職氷河期世代 の就職決定者数（正規、 非正規雇用、自営・起業・ 内職等の人数）（人）	目標				18	20	38
	実績				20	18	38
KPI⑤：就職氷河期世代 利用者数（新規登録者 数）（人） ※R6は継続利用者含む	目標				32	32	64
	実績				21	58	79
KPI⑥：就職氷河期世代無業 者対象協力企業開拓数（就労お よび職場体験の受け入れ先企 業延べ数）（社）	目標				20	20	40
	実績				22	24	46

**【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和6年度）】**

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

- ・（KPI④）今年度については、市内企業の人手不足で40歳代も自力で就職・転職しやすい状況。サポステの支援を必要とするケースはblankが長い、また病気や障害ですぐに働けない方が増え、PCや作業トレーニング、各種講座等のプログラムを居場所的に利用する傾向が強くなった。企業人としての思考・行動・スキルが不足している方も多く、それらの変容のために多くのトレーニング機会が必要だった。結果として就職決定は目標達成に至らなかった。

- ・(K P I ⑤) 40歳以上の利用者は新規登録21名、継続37名で合計58名。新規登録者は減った(就職しやすくなった)が、前年度から継続してサポステを利用している(就労に時間がかかる)ケースが多くなり、全体の支援のボリュームが大きくなっている。

### 【事業の実施状況及びその成果等】

#### 【R6年度実績】

- ・来所者数(のべ655名)、就労相談(のべ241件)
  - ・セミナー参加総数(428名)
    - 氷河期世代向けセミナー(10回のべ23名)
    - PC・事務・作業トレーニング(のべ247名)、企業説明会(3回のべ9名)
  - ・職場体験(のべ3名)、職場見学(ツアー1回、2名)、個別職場見学(のべ14名)
  - ・面接同行(のべ8名)、定着支援企業訪問(のべ5名)
- 前年に比べ新規登録者が少なく就職決定の目標も未達成となったが、コミュニケーションやPCスキル向上の意欲は高く支援プログラムの利用は比較的多かった。

#### 【事業開始から現在に至るまでの総括】

地域若者サポートステーションは、キャリアコンだけで就労が可能な層、障害や病気で働くことが難しい層、ひきこもりなど社会に出るきっかけづくりが必要な層、医療につながっていない障害グレーゾーンなど利用者が幅広く支援の専門性も幅広い。就労支援は社会経済情勢の影響を受けやすく、経済状況が厳しい時には働ける利用者が増え、人手不足の時は就労困難な利用者が増える。過去5年にわたる本事業を総括すると、令和2年の事業スタートから3年間はコロナ禍にあつて社会経済活動が停滞していたが、就職氷河期世代支援が始まると非正規雇用にあつた転職希望者や主婦層がPCなどのスキルアップを求めてサポステを利用し比較的順調に仕事に就くことができた。コロナが収束した令和6年以降は人手不足が顕著になり、動ける層は支援を必要としなくなり、支援に時間のかかるひきこもり層やグレーゾーンが残って必然的に就労の手前の社会とつながる「孤独、孤立対策」支援へと移行していくと思われる。

**(5) 流山市実施事業**

**【事業名】** 就職個別相談「就職氷河期世代支援コース」事業

**【事業概要】** 専門キャリアカウンセラー1名を流山市地域職業相談室に配置し、正規雇用を目指す就職氷河期世代に対し、個別相談、職業適性検査、パソコンスキルアップ講座、メンタルサポート、就職後のフォローアップを実施する。

**【KPIの達成状況】**

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	令和2～6年度 の増加分累計
KPI①：対象の就職率 (%)	目標	(※令和3年度 から事業実施)	30	30			※「平均」で集計 <b>30.0</b>
	実績	—	56.6	67.3			<b>62.0</b>
KPI②：対象の正規雇 用率 (%)	目標	—	30	30			※「平均」で集計 <b>30.0</b>
	実績	—	33.3	33.3			<b>33.3</b>
KPI③：対象の相談者 数 (人)	目標	—	30	30			<b>60</b>
	実績	—	53	49			<b>102</b>
KPI④：就業者数 (人)	目標				35	<b>20</b>	<b>55</b>
	実績				19	<b>15</b>	<b>34</b>
KPI⑤：正規雇用者 数 (人)	目標				15	<b>10</b>	<b>25</b>
	実績				11	<b>7</b>	<b>18</b>
KPI⑥：相談者数 (人)	目標				55	<b>60</b>	<b>115</b>
	実績				60	<b>53</b>	<b>113</b>

**【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由 (令和6年度)】**

(※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合)

- ・(KPI④)・相談者数が前年度より減少し、目標値の60名に達しなかった。
  - ・相談者の中には情報収集で満足される方や、カウンセラーとの関係性を築く前に連絡が途絶えてしまう方など、就業に結びつく前に音信不通になってしまうケースが散見された。
  - ・病気療養中や子育て・介護中の方など様々な事情により、相談に来てもすぐに就職できないといったケースも見受けられた。

- ・(KPI ⑤) 相談者数、就業者数が目標値に達しなかったことによるもの。
- ・(KPI ⑥) 最近の求職者の傾向として、ハローワーク等の就労支援施設を利用せず、自ら民間の求人検索サイトや人材紹介会社のエージェントを活用する方が増えているため。

### 【事業の実施状況及びその成果等】

#### 【R6年度実績】

- ・心理カウンセラー及びキャリアコンサルタントの資格を有したキャリアカウンセラーを配置し、メンタルサポートを強化した個別相談を実施（相談者数：53名、就業者数：15名、正規雇用者数：7名）
- ・パソコンスキルアップ講座の実施（回数：17回、参加者：17名）

全てのKPIについて、目標値を下回る結果となった。

相談者数減少の要因として、ハローワーク等の就労支援施設や行政の就職相談など利用せず、自ら民間の求人検索サイトや人材紹介会社のエージェントを活用する方が増えていることが考えられる。

また、就職に結びついていない相談者は、カウンセラーとの関係性を築く前に連絡が途絶えてしまう方、病気療養中の方や子育て・介護中の方など様々であり、利用目的や希望する雇用形態・就職時期など、利用者のニーズを適切に把握したうえで寄り添った対応が今後ますます求められていくこととなる。

#### 【事業開始から現在に至るまでの総括】

本事業を利用し就職した相談者の就職報告では、カウンセラーの寄り添った対応に感謝するといった好評の感想を多くいただいた。

パソコンスキルアップ講座では、パソコン操作に自信がなかったが、受講により理解が深まった、ためになった、今後役に立てたいとの意見があった。

令和7年度以降は、就職氷河期世代支援コースの個別相談については市の単独事業で実施する通常の個別相談に合流し、氷河期世代（35～56歳）を対象としたパソコンスキルアップ講座を市の単独事業で実施することで氷河期世代の求職者への就職支援を継続する。